

名称	燃焼実験室
建築年代	昭和 18 年（1943）から昭和 20 年までの間
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
用途	火薬研究所で、実験棟として使用されていた施設。板橋火薬製造所の時代には弾道管と接続しており、発射室の役割も担った。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 階、2 階ともに東西に中廊下が走り、南北に部屋が配置されている。 ・ 1 階東端の外壁部分には、弾道管と連結していたと思われる痕跡が残る。 ・ 現在の耐震調査でも補強の必要はないほど、強固な造りとなっている。 ・ 野口研究所時代には、主に研究棟として利用されていた。

